

# 「かわさき脱炭素プロジェクト」 の実施結果について

川崎市市制100周年記念事業・  
全国都市緑化かわさきフェア実行委員会事務局

COLORS, FUTURE! ACTIONS  
KAWASAKI 100th



# 「かわさき脱炭素プロジェクト」の目的と全体像



## 大目的

市民ひとりひとりが  
自発的に環境によいアクションをとる  
文化や新しいライフスタイルをつくる



## 今年度のスコープ



自分らしく環境によい  
宅配受け取りのライフスタイル



自分らしく環境によい  
食ロスのないライフスタイル



自分らしく環境によい  
移動のライフスタイル

# 今年度のプロジェクト概要



オープン型宅配ロッカー（PUDO）の利用促進により、宅配再配達を減らし、CO2の削減を目指す。（キャンペーン期間：6月17日～8月31日）

プロジェクト推進事業者：ヤマト運輸、Packcity Japan、富士通、実行委員会

## 宅配便ロッカー ラッピング

環境・物流の社会課題を楽しく知ることができる宅配ロッカーのラッピング



## 利用促進キャンペーン

「行動のきっかけ」となるインセンティブ（景品）を提供するキャンペーン



## 効果可視化

結果（行動総量やCO2排出削減量）が直感的に見えるダッシュボード



## 広報

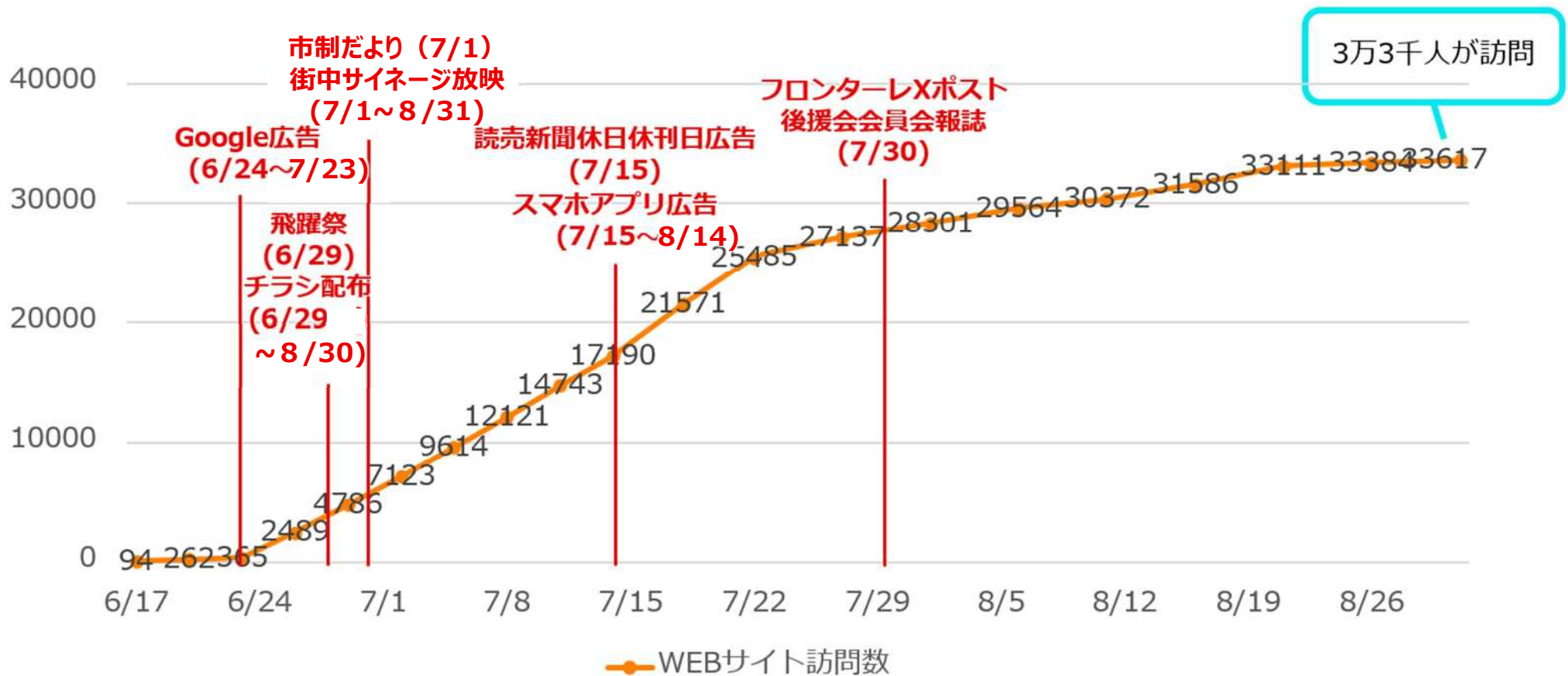
デジタル・アナログを組み合わせた広報により、PUDOの利用促進、キャンペーンへと市民を誘導し、行動変容・行動変容の維持を促す



# WEBサイト訪問数の推移



- ・ 累計33,617人がWEBサイトに訪問
- ・ 数値確認が難しいWEB以外（チラシ等）も含め、多くの市民にプロジェクト内容をリーチしている



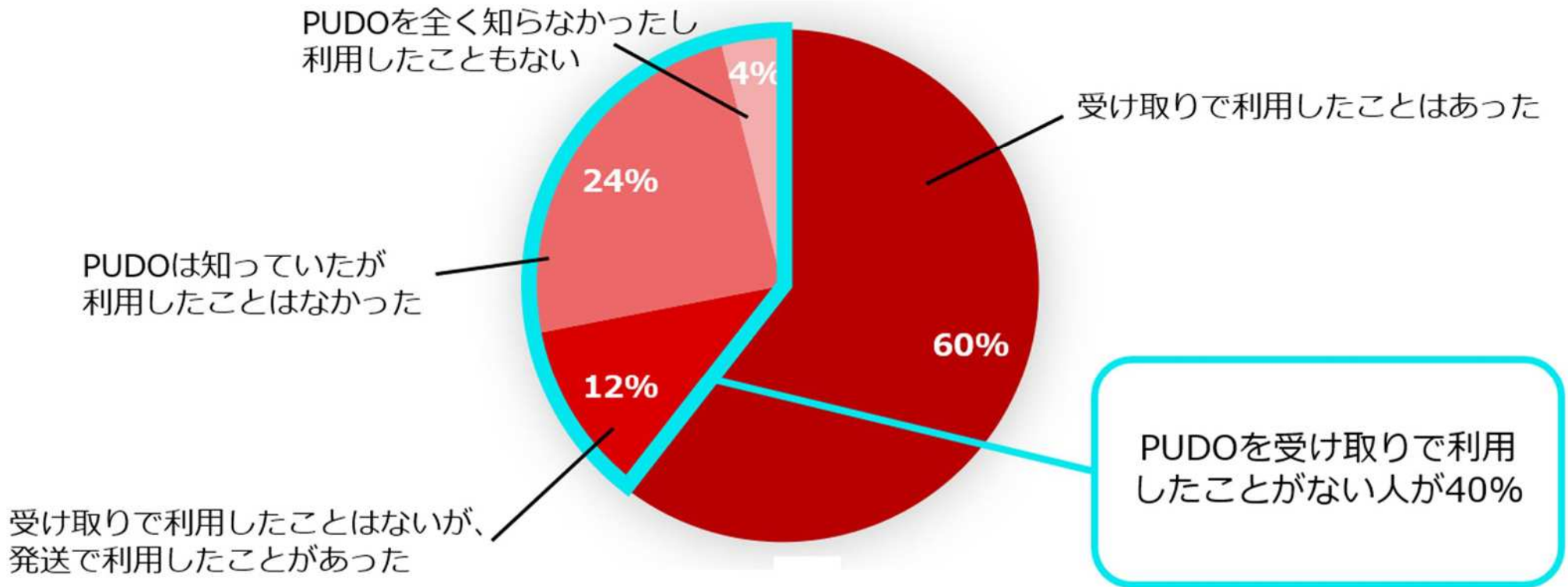
# キャンペーンを通じた行動変容結果



・キャンペーン応募者のうち、これまで「荷物」の受け取りでPUDOを利用したことがなかった人の割合が、全体の40%

⇒PUDOでの受け取り利用の経験がない市民にも、「行動変容」を促している

Q:これまで荷物の「受け取り」でPUDOを利用したことがありましたか？

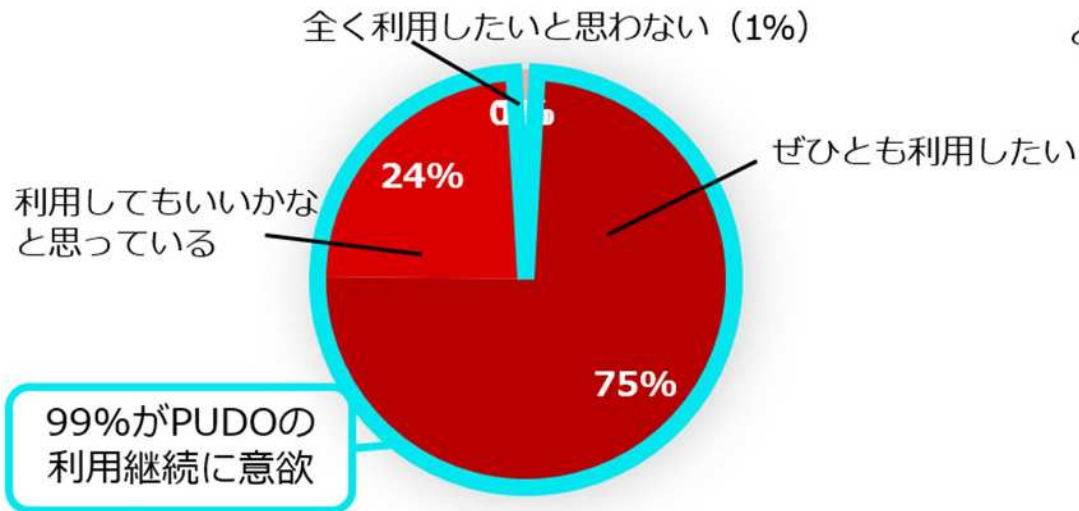


# 今後の継続に向けた意識変容結果

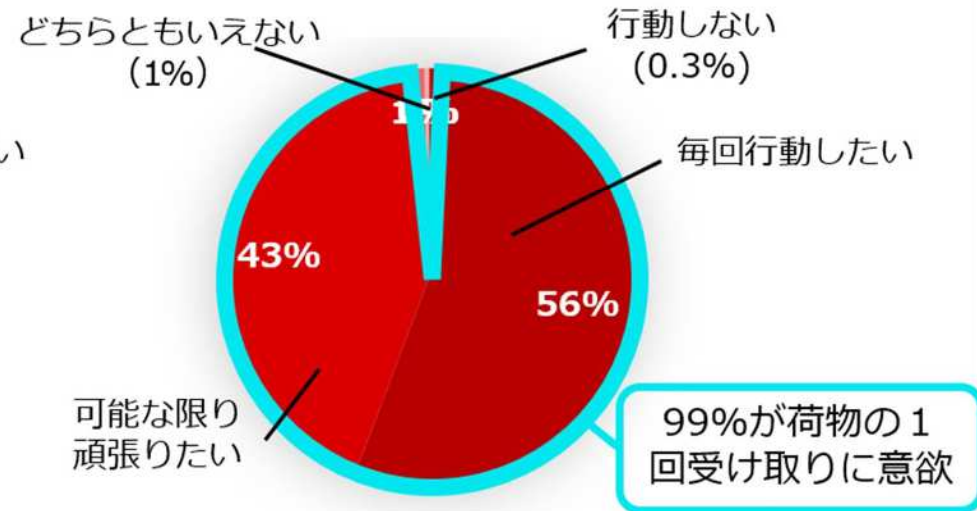


- ・キャンペーン応募者のうち、99%が今後継続して「PUDOを利用したい」、もしくは「利用してもいい」と回答
  - ・また、99%の人が今後PUDOの受け取りに限らず荷物を一回で受け取るようにしたいと回答
- ⇒継続したPUDO利用および荷物の一回での受け取りに向けた「意識変容」が行われていると言える

Q:今後継続してPUDOを利用したいと思いますか？



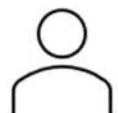
Q:今後環境負荷を減らすために、PUDOでの受け取りに限らず、荷物を一回で受け取るようにしたいと思いますか？



# キャンペーン応募者の声（一部抜粋）



## 環境の観点



これまでは、環境問題について気になってはいたものの、強く意識して行動することは少なかったが、このキャンペーンを機に日頃から意識して取り組もうと思った。

このような企画に感謝。子どもとも環境について話すきっかけになり、思ったより簡単にすんなりと受け取りが出来、今後も利用したいと思った。



## 利便性の観点

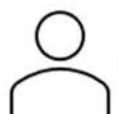


前からPUDOの存在は知っていたが使い方がわからず利用していなかった。このイベントをきっかけにトライ出来たので今後も利用したい。

フロンターレのXを見て知りました。PUDOは初めてでしたが簡単でこれからはPUDOを毎回利用するいいきっかけに成りました。



## 川崎へのイメージの観点



かつて公害のイメージが強かった川崎のイメージを変えていけるように少しでも協力していきたいと思います。

川崎市市制100周年おめでとうございます！！市民になって12年位ですが段々と愛着が湧いてきました♪ 記念の年を家族で盛り上げていきたいです！

